

ボードレス・エリア記者クラブ発足

ボランティアらを中心としたメンバーが自らの言葉で発信

以身伝しんぶん



第一回編集会議を行うメンバーたち

美術・地域・福祉の垣根超えて

本紙は、ボードレス・アートミュージアムNOMAに集まったボランティアのサポーターを中心としたボードレス・エリア記者クラブの新聞、その名も「以身伝しんぶん」です。

私たち、ボードレス・エリア記者クラブは、「ボードレス・エリア近江八幡をみんなで作るプロジェクト」として開催されている展覧会「以”身”伝心」から、はじめてみる」の実施に合わせ、NOMAや近江八

耳や手で作品を体感

「以身伝心」では、五感で楽しむことの実現のため、新しい試みがなされている。触図の展示もその一つ。入館してすぐ左側、「H」氏の病室での記



出展作家、Hさんの作品の触図

録、自分の身体感覚を、詳細な頭部の図解と、几帳面な筆による文で綴った、ノート一ペー

展覧会「以”身”伝心」開催



展覧会「以”身”伝心」から、はじめてみる」は9月22日より開催されています！NOMAでは、目に見える人も見えない人も、一緒に展示を楽しんでいただけます。

点字表示はもとより、作品について書かれている文字の読み上げ・作者へのインタビュなど音声コンテンツにより、豊かな想像力をもって「鑑賞」を「体感」してみてくださいね。

(記者：冬木)

作品へのアクセス方法

NOMAでの受付を終え、体を反転させた。奥の壁面には大きな紙が貼られている。その紙には何やら番号を伴った人間頭部の複雑な図が縦に並んでいる。そしてその右側には几帳面に書かれた文字の群れ。作者であるHさん自身の体起こる違和感や異変を自己流に解釈し、書き(描き)上げた綿密な記録だそう。今回の企画



作者の情報を説明する点字

触って創って

(記者：辻純)

この展覧会では、手で触れたり作者の絵画技法を体験すること



触ることのできる作品

ります。草薙陵太さんの絵の技法で自由に描いていただけるスペースも用意されています。徳山彰さんのノスタルジー溢れる作品



工夫がなされているのだ。障害のある方、ない方、お子さんや日本語を使わない方など多くの人がいろいろな方法で作品にアクセスできる本展覧会。あなたほどの感覚で鑑賞する？

(記者：相馬)



ボードレス・エリア記者クラブInstagram更新中